

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論VI		必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
山本 富士子 他	研究室 402	fujiko.yamamoto	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	疾病治療論では、看護の対象理解に必要な疾病の成り立ちと病因、症状を理解するとともに、診断に必要な検査、治療法、予後について学ぶ。疾病治療論VIIでは、女性生殖器、小児に特有の疾患に関して、臨床で経験する頻度の高いものを中心に理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	解剖学及び生理学的な知識・考え方を常に念頭に置いて予習復習を行うことで、より効率的に学習ができる。				
教科書	・専門分野(2) 母性看護学<1> 母性看護学概論(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2) 母性看護学<2> 母性看護学各論(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2) 小児看護学<2> 小児看護学各論(系統看護学講座)/医学書院 [3冊指定]				
参考書	・臨床病態学 総論 1～3巻 /編:北村 聖 他 /ヌーヴェルヒロカワ ・ハリソン内科学 第5版 /日本語版監修:福井次夫、黒田清 /メディカルサイエンス・インターナショナル /2017				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	臨床的に重要な疾患についての基本的な知識と考え方を理解し、説明することができる。		NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	女性疾患(1) (担当:都留市立病院産婦人科医) 産婦人科診療の基礎について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
2	女性疾患(2) 婦人科系疾患(良性疾患)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
3	女性疾患(3) 婦人科系疾患(悪性疾患)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
4	女性疾患(4) 産科基礎について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
5	女性疾患(5) 産科異常について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
6	小児疾患(1) (担当:佐野先生 ほか) 症状・徴候・主要疾患の概略について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
7	小児疾患(2) 代謝・内分泌疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
8	小児疾患(3) 腎・泌尿器疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
9	小児疾患(4) 神経疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
10	小児疾患(5) 感染症について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
11	小児疾患(6) 呼吸器疾患等について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
12	小児疾患(7) 消化器疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
13	小児疾患(8) 出生前・新生児の疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
14	小児疾患(9) 循環器疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

15	小児疾患(10) 血液疾患、腫瘍について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。			試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。必要に応じてフィードバックの時間をしっかり確保する。	
レポート	①						
成果発表	①						
ポートフォリオ	①						
その他	①						
備 考							
他 担 当 教 員	本科目における連絡調整を行う教員: 山本富士子						
教員の実務経験	担当は豊富な実務経験を積んだ医師である。						
実践的授業の内容	各回とも臨床経験に基づいた診断・治療についての講義を行う。						
そ の 他	・当科目は複数の教員が単元ごとに授業を担当するオムニバス形式となっている。 ・科目担当者は医師もしくは看護師としての実務経験を積んだ教員である。 ・授業開始時に全体オリエンテーションを行う。						